

心に残る文化財子ども塾 江津市立川波小学校

1. 活動の概要

6月24日(木)、江津市立川波小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。川波小学校周辺の遺跡や、埴輪について学習し、体験活動で「埴輪作り」を実施しました。

初めに、学習の全体の流れを説明したのち、川波小学校の校区内に所在する遺跡について解説を行いました。その後、埴輪の解説をしたのち、埴輪作りを行いました。

埴輪の作り方の手順をスクリーンに映しながら、埴輪の製作を始めました。製作が始まると、児童たちは多様なポーズの人物埴輪をはじめ、円筒埴輪に挑戦する児童もいました。粘土が粘土板に張り付いてうまく成形できない場面がありましたが、工夫しながら授業時間内に埴輪を完成させていました。

授業前後の空き時間に見学できるよう、江津市や島根県内から出土した考古資料を展示しました。児童たちは、身近な場所で考古遺物が出土することに驚きながら、興味深そうに触ったり眺めたりしていました。

2. 活動の様子



授業の様子



埴輪作りの様子



完成した埴輪(1)



完成した埴輪(2)

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 日本の歴史のものをつくってみたい
- もつというんなはにわを見てみたい
- 家の周りに遺跡がいっぱいあることを知れてよかった。
- はにわづくりが楽しかった。
- いろんなときなどがもつと見たい。
- 土器をはくつしてみたい。

2)担任の先生から…

- 校区にある遺跡や古墳を知れてよかったです。
- 毎年体験させていただきたいと思いました。

3)埋文センターから

児童たちは楽しみながら授業を受け、それぞれの個性が光る埴輪を製作していました。また積極的に質問したりするなど、自発的に活動を行っていました。